

5月の農薬

No. 2 - 1

令和7年5月1日

水稲

葉いもちの予防は箱処理剤で・長期持続型いもち害虫
同時防除箱処理剤で本田での防除回数が削減できます。

農 薬 名 （ 処 理 時 期 ）	規 格	密 苗 対 応	主な対象病害虫	使用方法・使用薬量等
ブイゲットパディート粒剤 （ 緑 化 期 ～ 移 植 当 日 ）	1kg 10kg	○	葉 い も ち イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 （ イ ナ ゴ 類 ） （ ニ カ メ イ チ ユ ウ ） （ ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ ）	・箱当たり50gを均一に散布し、茎葉に付着した薬剤が落下する程度に灌水する。 ※密苗対応の欄に○が記載されている薬剤は密苗に対応した登録を取得しています。 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当たり乾初として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。 ・軟弱徒長苗では葉害の恐れがあるので、使用を避ける。 ・漏水田、砂質土壌、未熟堆肥多用田では使用を避ける。 ・薬剤処理した苗は予備苗としない。 ・県内において「嵐」に耐性菌を有するいもち病の発生が認められているため、使用を控える。 育苗箱からこぼれた場合や薬剤処理後の灌水によって、農薬成分が土壌に残留し、後作物で栽培した野菜に吸収され適用外成分として検出されることがあるので、後作で野菜を栽培するハウス内では以下の事項を厳守する。 1. 水稻育苗箱施用薬剤を処理した苗の育苗は行わない。 2. 水稻育苗箱施用薬剤は処理しない。
Dr.オリゼパディート粒剤 （ 緑 化 期 ～ 移 植 当 日 ）		○		
ブーンパディート箱粒剤 （播種時〔覆土前〕～移植当日）		○		
ブイゲットプリンス粒剤10 （ 緑 化 期 ～ 移 植 当 日 ）		○		
エパーゴルフフォルテ箱粒剤 （播種時〔覆土前〕～移植当日）		○	い も ち 病 紋 枯 病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ	
ルーチンブライト箱粒剤 （播種時〔覆土前〕～移植当日）		○		
トリブルキック箱粒剤 （移植3日前～移植当日）		○	稲 こ う じ 病 い も ち 病 紋 枯 病 墨 黒 穂 病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ	

イネミズゾウムシ対策

薬剤の種類は発生する害虫に応じて、使用するようにしましょう。

処理時期	農 薬 名	規格	処理量	主 な 対 象 害 虫					
				イネミズ	イネドロ	イナゴ	ニカメイチュウ	ウンカ類	ツマグロヨコバイ
本田期	なげこみトレボン	(50g×6)	水溶性容器6個 (300ml)/10a	○	○	○	－	－	－
	トレボン粒剤	2kg	2kg/10a	○	○	○	○ (3kg/10a)	○	○

ー 葉害が出る恐れがあるので、次の事項に注意すること ー

1. 軟弱徒長苗には使用を避ける。

2. 本田が砂質土壌及び、漏水の大きいところでは使用しない。

3. 茎葉に付着した薬剤は払い落す。（茎葉がぬれている時は、露を払い落してから処理する）

4. 移植後はすみやかに灌水する。また、箱処理剤を使用した苗は予備苗としない。

水稲除草剤

止水管理7日間の徹底をお願いします。

	農 薬 名	規 格	主な対象雑草	使用方法・10a当り薬量
水稲初期除草剤	ソルネット1キロ粒剤 （移植直後～ノビエ1葉期）	1kg	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ホ タ ル イ ミ ズ ガ ヤ ツ リ	・1kg/10aを均一に散布する。 ・砂質土壌や漏水の大きな水田（2cm/日以上）では使用を避ける。 ・3～5cmの湛水状態で使用し、7日間は止水する。 ・極端な浅植え水田では使用を避ける。 ・初期の抵抗性アゼナ類に対し効果が高い。
	エリジャン乳剤 （移植直後～ノビエ1葉期）	300ml	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ホ タ ル イ ヘ ラ オ モ ダ カ	・300ml/10aを均一に散布する。 ・砂質土壌や漏れの大きな水田（3cm/日以上）では使用を避ける。 ・7日間は止水する。
	メテオフフロアブル （移植直後～ノビエ1葉期）	500ml 2ℓ	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ホ タ ル イ	・500ml/10aを均一に拡散させるため、幅が20m以上のほ場では畦畔からと、ほ場内から散布を行う。 ・3～5cmの湛水状態で使用し、7日間は止水する。
	ピラクロンジャンボ （移植直後～ノビエ1.5葉期）	300g	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ホ ウ リ カ オ モ カ タ	・10パック/10aを概ね均一に投げ込む。 ・5～6cmの湛水状態で使用し、7日間は止水する。

農 薬 名 （ 散 布 時 期 ）	規 格	主な対象雑草	使用方法・10a当り薬量
ディオーレジャンボ （移植後1日～ノビエ3葉期）	10パック (400g)	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ・ ホ タ ル イ ミ ズ ガ ヤ ツ リ ・ ウ リ カ ワ ヘ ラ オ モ ダ カ ・ ヒ ル ム シ ロ	・10パック/10aを概ね均一に投げ込む。 ・藻や浮き草が多発しているほ場では、拡散が不十分となり、効果が低下するので使用しない。
アットウZジャンボ （移植後3日～ノビエ4葉期）	10パック (400g)		
ブライオリティ1キロ粒剤 （移植時～ノビエ3.5葉期）			
ディオーレ1キロ粒剤 （移植時～ノビエ3葉期）	1kg	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ・ ホ タ ル イ ミ ズ ガ ヤ ツ リ ・ ウ リ カ ワ ヘ ラ オ モ ダ カ ・ ヒ ル ム シ ロ	・1kg/10aを均一に散布する。 ・軟弱苗、極端な浅植え、浮き苗の多いほ場では使用を避ける。 ・抵抗性アゼナ類にはいずれかの薬剤を中心に使用する。 ・いずれの剤も移植時処理可能。
アットウZ1キロ粒剤 （移植時～ノビエ4葉期）	10kg		
アカツキ1キロ粒剤 （移植時～ノビエ3葉期）			
ブライオリティ豆つぶ250 （移植直後～ノビエ3.5葉期）	250g 2.5kg	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ・ ホ タ ル イ ミ ズ ガ ヤ ツ リ ・ ウ リ カ ワ ヘ ラ オ モ ダ カ ・ ヒ ル ム シ ロ	・250g/10aを畦畔より額縁散布する。 ・砂質土壌および、漏水田、軟弱苗、極端な浅植えや、根の露出したほ場では使用しない。 ・藻や浮き草が多発しているほ場では、拡散が不十分となり、効果が低下するので使用しない。
ジャスタフロアブル （移植直後～ノビエ3.5葉期）	500ml 2ℓ		
アットウZ400FG （移植後3日～ノビエ4葉期）	400g 4kg	水 田 一 年 生 雑 草 マ ツ バ イ ・ ホ タ ル イ ミ ズ ガ ヤ ツ リ ・ ウ リ カ ワ ヒ ル ム シ ロ ・ セ リ ・ シ ズ イ	・砂質土壌、および、漏水田、軟弱苗、極端な浅植えや、根の露出したほ場での使用は避ける。 ・400g/10aを畦畔より額縁散布する。

ラ・フランス

（西洋なし）
アブラムシ・シンクイムシ類の重要な防除時期です。

散布時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍 数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考	
5月上旬 中旬 （落花一週間後）	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g	○	アブラムシ類 カメムシ類	4,000倍 25g	400ℓ 100g	地域の殺虫剤使用制限に準じて下さい。（訪花昆虫保護）	
	バイオマックスDF	335g 500g		ハマキムシ類	2,000倍 50g	400ℓ 200g		
	サムコルフロアブル10	200ml 500ml 1ℓ	－	ハマキムシ類 シンクイムシ類	5,000倍 20ml	400ℓ 80ml		
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	－	ハマキムシ類	4,000倍 25ml	400ℓ 100ml		
	ダイアジノン水和剤34	500g 1kg	○	（アブラムシ類） ハマキムシ類 シンクイムシ類	1,000倍 100g	400ℓ 400g		
	サイアノックス水和剤	500g 1kg	－					
	トップジンM水和剤	500g	－	胴黒 枯星 病病	1,500倍 67g	400ℓ 268g	いずれか	
	オキシラン水和剤	500g 1kg	－	黒斑 黒輪 細菌 細星紋 病病 病病	500倍 200g	400ℓ 800g		

- ・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。

・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



全農山形県本部 資材エネルギー部

お問い合わせの電話番号 023-687-8700

FAX番号 023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

5月の農薬

No. 2 - 2
令和7年5月1日

農薬の適正使用、ポジティブリスト制度の周知、農薬の使用基準を遵守し、飛散防止対策に留意しながら防除されるようご指導ください。訪花昆虫を保護するため、殺虫剤使用制限に準じて、ご指導ください。

りんご

- ①落下後～6月上旬までは「さび果」や「生理落花」が発生しやすいので、薬剤の選定に注意しましょう。
②黒星病の防除を徹底しましょう。

散布時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍 数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考	
落花直後（5月中旬）	インダーフロアブル	100ml	－	黒 斑 点 星 落 葉 病 斑 点 星 落 葉 病 赤 (モ ニ ス リ ア 病)	5,000倍 20ml	500ℓ 100ml	い ず れ か	加 用
	オンリーワンフロアブル	250ml	－		2,000倍 50ml	500ℓ 250ml		
	スコア顆粒水和剤	250g 335g	－		3,000倍 33g	500ℓ 165g		
	ジマンダイセン水和剤	500g 1kg	－		600倍 166g	500ℓ 833g		
	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	－		500倍 200ml	500ℓ 1,000ml		
	アスパイア水和剤	1kg	－		500倍 200g	500ℓ 1,000g		
	サムコルフロアブル10	200ml 500ml	－	ハ マ キ ム シ 類 シ ン ク イ ム シ 類	5,000倍 20ml	500ℓ 100ml	地 域 の 殺 虫 剤 使 用 制 限 に 準 じ て 下 さ い 。 (訪 花 昆 虫 保 護) い ず れ か を 散 布 す る 。	
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	－	ハ マ キ ム シ 類	4,000倍 25ml	500ℓ 125ml		
パイオマックスDF	335g 500g	－	ハ マ キ ム シ 類	2,000倍 50g	500ℓ 250g			
落花15日後（5月下旬）	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	－	黒 斑 点 星 落 葉 病 黒 斑 点 星 落 葉 病 赤 褐	500倍 200ml	500ℓ 1,000ml	い ず れ か	混 用
	トランスフォームフロアブル	250ml	－	カ イ ガ ラ ム シ 類 ア リ フ ゴ ワ タ シ ム シ	2,000倍 50ml	500ℓ 250ml		
	ダントツ水溶剤	125g 250g	－	ア ブ ラ ム シ 類 リ ン ゴ ワ タ シ ム シ	4,000倍 25g	500ℓ 125g		
	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g	○	カ メ ム シ 類	4,000倍 25g	500ℓ 125g		

- ④ 1 摘果剤（ミクロデナポン）の使用については、使用時期、使用方法を誤まらないようにしましょう。
④ 2 黒星病多発地域では落花10日後、20日後にジマンダイセン水和剤またはトレノックスフロアブルを散布する。

薬剤による摘果（JAの営農指導に準じて下さい）

ミクロデナポン水和剤85	500g	○	摘果	1,200倍 83g	350ℓ以上	
--------------	------	---	----	---------------	--------	--

ぶどう

- ①クロヒメゾウムシ防除は早めに実施しましょう。
②第1回のジベ処理は適期を逃さずに行いましょう。

散布時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍 数 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考		
展葉初期 （5月上・中旬）	サイアノックス水和剤	500 g	－	フタテンヒメヨコバイ ブドウスカシバ （クロヒメゾウムシ）	1,000倍 100 g	200 ℓ 200 g	い ず れ か	混 用	デ ラ ウ エ ア
	モスピラン顆粒水溶剤	100 g 250 g 500 g	○	フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2,000倍 50 g	200 ℓ 100 g			
	ベンコゼブフロアブル	500ml	－	べ と 病	1,000倍 100ml	200 ℓ 200ml			
	ジマンダイセン水和剤	500 g 1kg	－	黒 と う 病	1,000倍 100 g	200 ℓ 200 g	い ず れ か	混 用	欧 州 種
	モスピラン顆粒水溶剤	100 g 250 g 500 g	○	フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2,000倍 50 g	200 ℓ 100 g			
	サイアノックス水和剤	500 g	－	フタテンヒメヨコバイ （クロヒメゾウムシ）	1,000倍 100 g	200 ℓ 200 g			
	デランフロアブル	500ml	○	べ と う 病 黒（晩 腐 病）	1,000倍 100ml	200 ℓ 200ml			
5月下旬	ベンコゼブフロアブル	500ml	－	黒 と う 病	1,000倍 100ml	200 ℓ 200ml	い ず れ か		欧 州 種
	テーク水和剤	250 g	－	べ と う 病 黒（晩 腐 病）	1000倍 100 g	200 ℓ 200 g			
	ジベレリン	200mg	－	無 核 果	水2ℓ 200mg	浸漬10a 8～10箱			

もも

- ①モモハモグリガの重点防除は落花直後です。
②前年、せん孔細菌病の多かった園では散布間隔を開けないように防除しましょう。
③灰星病と黒星病の防除は必ず実施しよう。

散布時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍 数 水 100 ℓ 当り薬量	10 a 当り 散 布 量	備 考	
5月上旬 (落花直後)	ノ ー モ ル ト 乳 剤	500ml	－	モ モ ハ モ グ リ ガ	2,000倍 50ml	300 ℓ 150ml	花ぐされ多い 園ではさらに 散布する。	
	ウ ラ ラ D F	250 g	－	ア ブ ラ ム シ 類	2,000倍 50 g	300 ℓ 150 g		
	マ イ コ シ ー ル ド	500 g	－	せ ん 孔 細 菌 病	2,000倍 50 g	300 ℓ 150 g		
	ロブラール水和剤 スミレックス水和剤	100 g 500 g	－	灰 星 病	1,500倍 66 g	300 ℓ 200 g		
5 月 中 ・ 下 旬	トレノックスフロアブル	1 ℓ 2 ℓ	－	灰 せ ん 孔 細 菌 病 黒 星 病	500倍 200ml	400 ℓ 800ml	い ず れ か	地域の殺 虫剤使用 制限に準 じて下さ い。(訪花 昆虫保護)
	デランフロアブル	500ml	○	灰 せ ん 孔 細 菌 病	600倍 167 g	400 ℓ 667 g		
	マイコシールド	500 g	－	せ ん 孔 細 菌 病	2,000倍 50 g	300 ℓ 150 g		
	ダイアジノン水和剤34	500 g 1kg	○	シンクイムシ類 ハマキムシ類 (アブラムシ類)	1,000倍 100 g	400 ℓ 400 g		
	パイオマックスDF	335 g 500 g	－	ハ マ キ ム シ 類	2,000倍 (50 g)	400 ℓ 200 g		
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	－		4,000倍 (25ml)	400 ℓ 100ml		

おうとう

- ①カイガラムシ1回目の防除時期は5月中旬～5月下旬です。
②早生種の収穫前日数に留意し防除しましょう。

散布時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考
満開3日後(5月上旬)	オーシャインフロアブル	500ml	－	灰 星 病 幼 果 菌 核 病	3,000倍 33 g	500 ℓ 167 g	混 用 訪花昆虫保護 に留意
	オーソサイド水和剤80	500 g	－	炭 星 病 灰 そ 星 病	800倍 125 g	500 ℓ 625 g	
	バイオマックスDF	335 g 500 g	－	ハ マ キ ム シ 類	2,000倍 50 g	500 ℓ 250 g	
満開15日後(5月中旬)	パスワード顆粒水和剤	500 g	－	灰 星 病	1,500倍 66 g	700 ℓ 466 g	
	オーソサイド水和剤80	250 g 500 g	－	灰 星 病 炭 そ 星 病	800倍 125 g	700 ℓ 875 g	
	ウ ラ ラ D F	250 g 500 g	－	コアオカスミカメ	2,000倍 50 g	500 ℓ 250 g	
5月下旬 6月上旬	ダニコングフロアブル	250ml	－	ハ ダ ニ 類 (収 穫 前 日 ま で)	2,000倍 100ml	700 ℓ 350ml	
5月下旬	スコア顆粒水和剤	250 g 335 g	－	灰 星 病	2,000倍 50 g	700 ℓ 350 g	
	オーソサイド水和剤80	500 g	－	(灰 星 病) 炭 そ 病 褐 色 せ ん 孔 病	1,000倍 100 g	700 ℓ 700 g	
	トランスフォームフロアブル	250ml	－	カ イ ガ ラ ム シ 類	1,000倍 100ml	700 ℓ 700ml	
	モスピラン顆粒水溶剤	100 g 250 g	○	オウトウショウジョウバエ カ メ ム シ 類 カ イ ガ ラ ム シ 類	2,000倍 50 g	700 ℓ 350 g	

- ④ 1 ウメシロカイガラムシに対してトランスフォームフロアブルは歩行性幼虫発生時期よりも1週間程度早く散布しても効果がある。

家庭菜園向けおすすめ農薬

ダントツ粒剤

- 1kg ・定植時に処理することでアブラムシ・コナジラミ・ハモグリバエなどの害虫を防除できます。幅広い作物に登録があり使いやすい剤です。
3kg ・ダントツ粒剤専用散粒器「ひと振りちゃん」がついてきます。（※ひと振りで1g散布できます）